

氏名	高島 元洋 TAKASHIMA Motohiro
所属 職名	人間文化創成科学研究科文化科学系 教授
学位	博士（文学）（1993 東京大学）
専門分野	日本倫理思想史・倫理学
URL	
E-mail	takashima.motohiro@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

倫理学
日本倫理思想史

ethics
history of Japanese ethical thought

主要業績

日本儒教之多様性（翻訳：張可佳）、台湾・政治大學『政大中文学報』半年間 [第十期]、2010年6月、PP25-38、2010年6月

提言「中等における発達の段階を踏まえた道徳教育の推進」文部科学省教育課程課編集『中等教育資料』（平成23年2月号）第897号
ぎょうせいpp.12-15、2011年2月

講演「日本儒教の多様性」、お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」プログラム
第5回 国際日本学コンソーシアムー「日本」とは何か 日本文化部会、2010年12月13日

講演「北区環境大学 一般向け講座」、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター、2011年2月2日

研究内容 / Research Pursuits

日本思想を極東の特殊な思想として理解するのではなく、これを手掛かりとして人間の普遍的な倫理そのものを考察する。主とする専門領域は、江戸時代の思想・文化、特に儒教であるが、古代（神道）・中世（仏教）をも視野に入れながら日本思想全体を概観して研究する。また現代の倫理の問題（人倫＝人間関係）に関しても、特に超越的な存在（神・仏・天など）や他界の観点を考慮しつつ、心（理性）に対する身体（感情）の問題として再考する。A個別研究（モノグラフ）としては、1 儒教関係、2 儒教以外の研究（仏教・武士道・演劇など）、3 道徳教育関係があり、またB方法論の分野の研究もある。

■ 教育内容 / Educational Pursuits

学生に対する教育内容は、主として「講義」と「ゼミ」である。「講義」は教員が中心となる授業であり、「ゼミ」においては学生が中心となってレポートをする。教育の意図は、学生の主体的な問題意識を育成するということであるが、「講義」の現状においてその趣旨はよく理解されており、「ゼミ」においても活潑な議論がなされていることから、期待どおりに機能していると判断している。

■ 研究計画

日本思想は、インド・中国など外来思想の強い影響を受け、独自のものは少ないと思われているが、実際はきわめて洗練された多様な内容を含み、西洋思想にも匹敵する普遍性を持っている。今日海外との文化交流は、能・歌舞伎・茶道だけでなく文学・演劇・美術など高度に専門的な学問分野においても活発である。海外の研究者との共同研究を進めながら、日本思想が特殊であるとする誤解を是正し、正確な思想・文化を発信する必要がある。

■ メッセージ

授業においては、テキスト（資料）を正確に読みとる訓練と相互の討論をとおして、資料の意味、著者が何を考えていたかを時間をかけて考えたい。膨大な情報の中から、いかにして正確なものを選択するか、いかにして自身の行為に結び付けていくかの練習をする。